

地域再生計画(汚水処理施設整備交付金)の事後評価シート

1)計画の概要

計画の名称	「人と自然にやさしく、暮らしやすいまち印西」大作戦
計画の期間	平成17年度 ～ 平成21年度
計画の作成主体の名称	千葉県 印西市
整備施設の種類	公共下水道施設
	浄化槽(個人設置型)
事業の区域	公共下水道施設 印西市小林地区
	浄化槽(個人設置型) 印西市下水道事業認可区域外(旧印西市)

2)目標の達成状況

(目標1)汚水処理施設の整備・促進(汚水処理施設人口の向上)⇒汚水処理人口普及率を94.6%に向上させる。

	≪計画実施前≫ 平成16年度末	≪整備施設供用開始後≫ 平成22年度末
行政人口〔人〕 . . . ①	60,898	67,088
下水道処理人口〔人〕 . . . ②	51,713	58,734
合併処理浄化槽人口〔人〕. . . ③	3,692	6,019
汚水処理施設人口〔人〕. . . ②+③	55,405	64,753
普及率〔%〕. . . (②+③)÷①	91.0	96.5
評価	◎：目標達成	

(目標2)河川の水質保全(BOD濃度を環境基準値以下とする)

	環境基準値	実績値(平成22年度末)
亀成川〔mg/l〕	3.0	1.8
神崎川〔mg/l〕	2.0	1.1
師戸川〔mg/l〕	3.0	3.0
評価	○：目標達成	

(目標3)活力のあるまちづくり(定住人口の増加)

	目標値	実績値(平成22年度末)
行政人口〔人〕	79,000	67,088
評価	×：目標未達成	

注意)上記、「目標の達成状況」に用いられている各数値は、旧印西市地区のものです。

3)総合評価と今後の方策

本計画により整備された汚水処理施設が供用開始された、平成22年度の諸数値と計画目標を比較したところ、概ね目標を達成していた。

特に、汚水処理人口普及率の向上においては、想定以上の成果を得ることが出来た。

また、定住人口の増加においては目標値を達成することは出来なかったものの、目標値の根拠であった「印西市基本構想」が平成18年度に見直され、それに伴い修正された平成22年度の将来人口67,000人は辛うじて満たしていたことから、一定の成果は得られたものと思われる。

今後も、市全域での効率的な汚水処理施設整備を推進し、公共用水域の水質保全、生活環境の向上を推進します。